



感動をありがとう！アカツキジャパン！

パリオリンピックでは、男子女子共に予選敗退と残念な結果でしたが諦めず最後まで戦った姿は勇気づけられましたね！
レフリーとして派遣された加藤誉樹さんは予選3試合、女子準決勝、男子準決勝IRS担当として割り当てられ、素晴らしいゲームを担当されました。
男子予選のアメリカvs南スーダンでは、NBAスーパースターレブロン、カーリー、デュラント、アンソニーの4人に囲まれるシーンがありました。が毅然とした態度で対応して素晴らしかったですね(^^)



インターハイ派遣報告 勝呂真帆(社会人 A級)

日にち		チーム	CC	U1	U2
8月4日	女子 1回戦	土浦日本大学(茨城) 県立佐賀北(佐賀)	寺田 祥 (A長崎)	勝呂 真帆 (A静岡)	吉田 恭輔 (B福岡)
8月5日	女子 2回戦	県立石川(沖縄) 日本航空(山梨)	副島 亜紀子 (A福岡)	勝呂 真帆 (A静岡)	徳丸 昂 (A熊本)



【初参加インターハイ】

初めての全国インターハイで、初めての福岡で、自分にとってとても楽しく有意義な大会でした！
県内のインターハイも毎年3年生最後の試合となるので緊張感がありますが、もちろん全国大会もとても緊張感がありました。
中でも、各県のA級・地元福岡のB級の方々と一緒に試合を楽しむことができました。

【ゲームの反省】

1試合目はベンチからのコミュニケーションが求められるゲームとなり、自分とベンチのコミュニケーションだけではなくクルーとしてのコミュニケーションの取り方をCCの方から学ばせていただきました。CCMの発揮とクルーワークに繋がる部分だと感じています。
2試合目は、クルー3人でのベーシックなメカニクスとプレーコーリングの理解によりスムーズなゲーム運営が出来た試合でした。お互いに初めましてのクルーでもスムーズにレフリングが出来るためのベーシックなので、これが体現出来たのはとても良い経験でした。特に県内や東海ブロックではなかなか感じる機会も少ないのでより貴重な経験でした。
また、今回の大会のテーマでもある「ペイシエント・ケイデンス」にも意識をしてクルーでチャレンジできたので、今後継続していくことはもちろん、会場などで皆様にお伝えしていきたいと思ひます。

【全国の仲間と出会える経験】

今回の大会では大会を通して新たに仲間が増えたことはもちろんですが、学生時代の仲間に10年振りにお互いA級になって再会することが出来てとても感慨深い大会となりました。
大好きなバスケットを通して仲間・同志が出来ることは審判の魅力の一つだと思っているので審判を頑張っていて良かったなあとしみじみ思いました(^^)
今回、貴重な機会をいただきまして県協会、審判委員会の方々に感謝申し上げます。
文字では伝えきれない経験をさせていただきましたので、会場で皆様にお伝えしていきたいと思ひます。
気になることがありましたら、是非お声掛け頂けますと嬉しいです。



中洲で遊ぶ時間はありませんでしたが、博多豚骨ラーメンを食べ、明太子にもつ鍋、通りもん、梅ヶ枝餅に三日月(クロワッサン)とたくさん福岡グルメも満喫し満腹な福岡でした。笑





全国中体連派遣報告 美澤将史(U-15 B級)

日にち		チーム	CC	U1	U2
8月22日	男子 予選L	布水(北信越2) 中村三陽(九州2)	丸山大 (S新潟)	美澤将史 (B静岡)	山本翔流 (B新潟)
8月22日	男子 予選L	倉敷北(中国2) 菊陵(九州1)	山本雄大 (S本部)	濱口玄也 (A新潟)	美澤将史 (B静岡)
8月23日	男子 決勝T	実践学園(関東1) 本丸(開催地)	市川雄介 (S本部)	美澤将史 (B静岡)	加藤昂 (B鹿児島)
8月24日	女子 準決勝	昭和学院(関東2) 樟蔭(近畿2)	小出聡子 (S本部)	山田依美里 (S本部)	美澤将史 (B静岡)



👍 先の3ゲームの評価から準決勝を勝ち取りました!! NICE!! 👍

【全国中体連審判員のテーマ】

今回の新潟全中では、講習会において「コール・ザ・オヴィアス」ということをテーマとして大会運営がなされました。昨年度も同じテーマであり、さらに今年度はペイシエントホイッスルやケイデンスホイッスルなどについて講習会で詳しい説明がありました。判定にはプロセスがあること、クイックホイッスルは判定の精度を下げてしまうことがあること、全ての情報に基づきプレー全体を分析して慌てず判定すること、などの説明がありました。自分自身、瞬間的に鳴らしてしまうことがあるので、こうした講習会のポイントを押さえてゲームにのぞみたいと感じました。

今年度も昨年度同様に「処置ミス0」に向けて、クルーやTOとの協力が重要であることを再認識しました。全中は、生徒が役員として参加します。そうした生徒も「やって良かった」と思える大会にすることが講師の方からされ、県内の大会においても生徒役員がある場合にもつべき必要がある考えだと感じました。

【クルーワークの大切さ】

実際のゲームでは、予選リーグからトップリーグ担当の方々と一緒にすることがあり、これまでの経験を教えてもらったり、色々な場面で想定すべきことを共有させてもらったりして、新しい視点を得ることができました。特に予選リーグで一緒にした丸山氏からは「全国大会で知らない人と一緒に試合を運営していくことのごささ」について話していただき、「クルーで力を合わせていくこと」の重要性を再認識しました。同じ考えをもってゲームを運営していくことがクルーワークに繋がると感じました。

【存在感とは・・・】

ここからは個人的な反省点ですが、「存在感」を出すということはどういうことなのかを考えさせられました。やはり、本部で派遣される方々やトップリーグを担当している方々の存在感は圧倒的で立つ姿、レポート、コート外でのふるまいなど、自分に足りない「存在感」を感じ、今後も研鑽を積んでいく必要があると感じました。

井出審判長をはじめ、新潟全中派遣について色々な協力やサポートをいただいた県内外の審判員の方に感謝すると共に、今後の審判活動を頑張りたいと思います。ありがとうございました。



【長岡グルメについて】

長岡は生姜醤油ラーメンが有名らしく、駅前のお店で食べることができました。有名店らしいのですが、生姜醤油ラーメンよりも卵焼きがおいしくて、そちらの方が印象に残っています。ぜひ長岡に行った際には食べてみてください。

